

第1学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主題 みんなで みんながにっこにこ

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

相手の気持ちを考えて行動し合い、「みんなで、みんなが『にっこにこ』」になるつながりをつくっていかうとする態度を育てる。

4 指導計画

【 】 普遍的な学習のテーマ

[] 個別人権課題名

主題に関する人権学習		主題に関わる教科等・行事	
<u>これまでの学習</u> ○道徳科「ともだちのたね」 （森沢明夫作・東京地図出版） 【仲間づくり】1時間 ○道徳科「ゆめのおはなしきいてエなあ」 （吉村敬子文 佐々木麻こ絵・偕成社） 【仲間づくり】【障がい者】1時間		○国語科「やくそく」 【仲間づくり】8時間 ○道徳科「ぼくのはなさいたけど」（東書） 【仲間づくり】1時間 ○生活科「たのしいあきいっぱい」 【仲間づくり】21時間	
<u>現在の学習</u> ○道徳科 「ヤギさんミルクはともだちじるし」 （はらだゆうこ作・旺文社出版） 【仲間づくり】2時間（本時2/2）		○図画工作科 「いろんなともだちはなしだす」 【仲間づくり】2時間	
<u>これからの学習</u> ○道徳科「ともだちをたすけたゾウたち」 （わしおとしこ作・教育画劇） 【仲間づくり】1時間		○学級活動「みんなでチャレンジ」 【仲間づくり】1時間	
主題を支える常時活動			
<u>絵本の読み聞かせ</u> 読み聞かせを通して想像力を高め、感性を豊かにする。 絵本の世界の中で共通体験し、生活の中で活かす。	<u>みんなでうれしいを いっぱいに！</u> 友達がうれしいことも「よかったね」と声をかけてともに喜ぶなど、うれしいことをいっぱいしながら、あたたかいつながりをつくっていく。	<u>じぶんもいいね！ みんなもいいね！</u> 毎日帰りの会で、一日を振り返り、自分や友達、教師に拍手を贈ったり、「セルフハグ」をしたりして自分を褒め、自尊感情を高める。	<u>ともだちのき</u> 校庭の木の中で「ともだちのき」を決め、一年間変化を見ることを通して、周りに気を配ったり、変化に気付いたりできるようにする。

5 本時の学習

- (1) 目標 ヤギさんやトリさんの優しさを感じ取り、自分が行動することで自分も友達も「にっこにこ」になれるあたたかいつながりをつくっていかうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	B-(9) 友情・信頼
-------------	-------------

- (2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり

- (3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 「ヤギさんミルクはともだちじるし」の話の「ミルクがでなくなったら、みんなすぐ帰ってしまったなあ…。」までを聞くとともに、最後の場面を知り、学習課題をつかむ。	○ ゆっくり語りかけるように読み、前時の学習を振り返ることができるようにする。 ○ 場面の様子を想像できるように、板書を工夫する。
なぜ ヤギさんは にっこりわらったのか かんがえよう。	
2 続きの話を聞き、トリさんの行動や気持ちについて考え、話し合う。	○ トリさんは、友達としてヤギさんのことを大切にしていることに気付かせる。 ②
3 ヤギさんの気持ちについて考え、話し合う。	○ ヤギさんは、森の動物たちに喜んでもらえることで、自分もうれしい気持ちになっていることに気付かせる。 ②
4 本教材の中で「こころびかぴか」になっている場面について考える。	○ 自分たちの生活につなげるようにする。
5 本時を振り返り、学習のまとめをする。	○ 学習したことを振り返り、友達の気持ちを考えて行動していかうとする意欲を高める。 ①

- (4) 評価

- ・ 友達のことを考えた行動をすることで、みんなが笑顔になるつながりをつくっていかうとする意欲の高まりが見られたか。 【価値的・態度的側面】 ①
- ・ 友達の意見を聞き、自分が感じたことや考えたことを伝えることができたか。 【技能的側面】 ②